

ニセンネンタマネギ



Onion vector EPS10

深堀絢 大賀柊也 古川博之 山崎賢太郎

チームメンバーです



大賀柊也



山崎賢太郎



古川博之



深堀絢

ある日の車内の出来事

# 子育て世代の声

電車あんまり乗らない。  
うるさくて迷惑かけちゃうというのもあって…  
0歳児, 3歳児のママ (30代)

泣き続ける声に耐えきれなくなり、『もうやだ、降りる、飛び降りる!』と、着陸準備中にシートベルトを外して出口に向かって走った乗客。

足りていないのは、思いやりです。



- 周囲の理解
- 承認されていると感じること

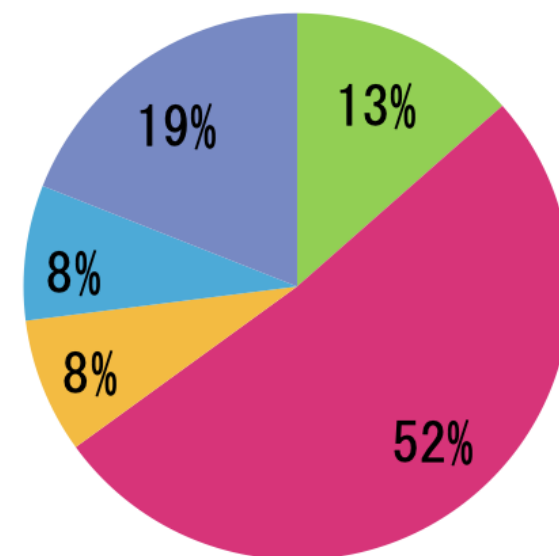
# 親世代が求めること

## 要望

公共交通機関に対して期待すること、その他ご意見

回答数：200

(1) 座席の譲り合いについて	27	■
(2) 周囲の態度・行動について	103	■
(3) ベビーカーの利用について	16	■
(4) 子どもの泣き声などについて	16	■
(5) 周囲への気遣いについて	38	■



出典：一般財団法人 運輸振興協会

<https://www.transport-pf.or.jp/zaidan/riyou/pdf/fullpage.pdf>

# 真の「公共交通機関」



# 熊本

## WHY

### ・子育てがしやすい県

ポテンシャルがあり、  
全国にない独自性を生み出せる

■子育て評価偏差値の高い自治体ランキング【全国編】

全体 順位	市区名	都道府県名	子育て評価 偏差値	安全度 (順位)	利便度 (順位)	快適度 (順位)	富裕度 (順位)
1	合志市	熊本県	806.42	5	380	230	493
2	かほく市	石川県	798.08	28	55	479	48
3	倉吉市	鳥取県	796.40	15	335	223	180
4	水俣市	熊本県	795.86	3	791	63	771
5	人吉市	熊本県	792.55	17	47	218	721
6	印西市	千葉県	792.12	37	16	585	130
7	白山市	石川県	791.53	40	289	134	21
8	郡上市	岐阜県	790.34	27	589	328	15
9	小浜市	福井県	790.02	10	525	391	147
10	奄美市	鹿児島県	785.69	1	809	296	786
11	黒部市	富山県	783.99	67	514	18	23
12	野々市市	石川県	783.62	125	7	312	118
13	長久手市	愛知県	782.42	246	9	102	13
14	西海市	長崎県	781.45	6	812	29	736
15	南さつま市	鹿児島県	780.46	14	453	38	796
16	伊佐市	鹿児島県	779.64	18	222	145	784
17	嬉野市	佐賀県	779.11	25	545	346	142
18	天草市	熊本県	778.56	4	689	667	731
19	福井市	福井県	778.36	90	182	248	3
20	西之表市	鹿児島県	775.80	2	767	562	807
21	四万十市	高知県	774.17	60	50	21	734
22	平戸市	長崎県	773.55	7	680	489	691
23	鹿屋市	鹿児島県	773.37	8	643	210	779
24	山鹿市	熊本県	771.73	33	212	174	689



# 熊本

## WHY

### ・ 県の子育ての方針が我々の企画の方針と一致

#### (1) 子育てを支える意識の向上

##### 現状・課題

#### ① 地域ぐるみで支え合う意識・機運づくりに向けた啓発が必要

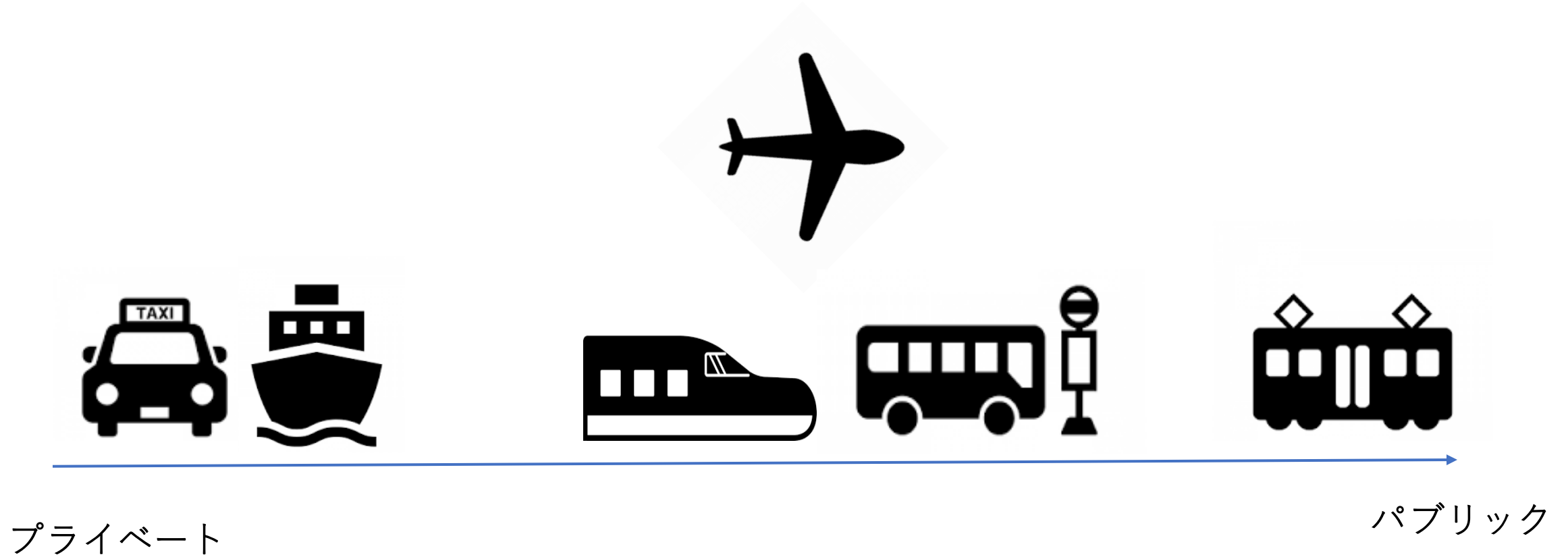
次代を担う子どもたちを生き育てることは、個人の価値観の問題にとどまらず、地域社会の活力の維持に関わる問題です。子どもを望む人が安心して生き育てることができるよう県民一人一人が温かく見守り支えていくことが重要です。

このため、子ども・子育て支援を県民全体で考え、地域ぐるみで支え合う意識や機運づくりのために継続的に啓発することが求められています。

#### ② 子どもや家庭の大切さを理解するため、乳幼児とふれあう機会提供が必要

子どもを生き育てることの意義と子どもや家庭の大切さを理解するためには、中学生・高校生に乳幼児とふれあう機会を提供することが効果的です。

# モビリティの分類



# 熊本 四つの交通機関



バス



飛行機



電車



新幹線



提案

To Go ゆる



# To Go ゆる（とごゆる）

## とごゆる

熊本弁で騒ぐという意味。

たくさん泣いても騒いでも大丈夫だよ。

## ToGo

子どもを連れて公共交通機関で気軽にお出かけできる世の中へ。

# To Go ゆる（とごゆる） — 施策の内容



熊本県内の産婦人科  
で配布されるタグで  
子どもを認識



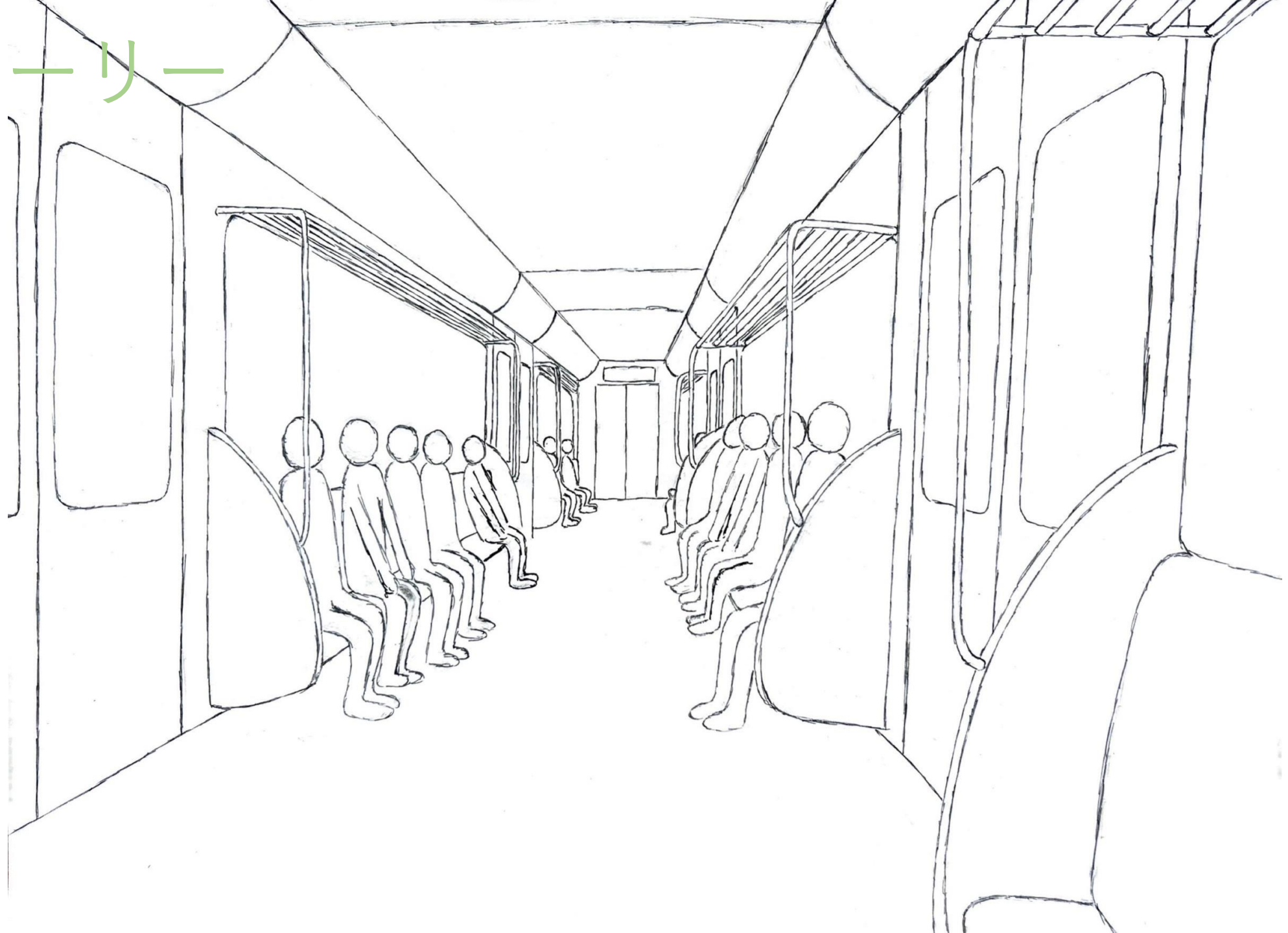
公共交通機関のモニターや  
ボタン、床を用いて  
意思表示や場の雰囲気づくり



運賃の割引などで  
歓迎の意思表示を推奨

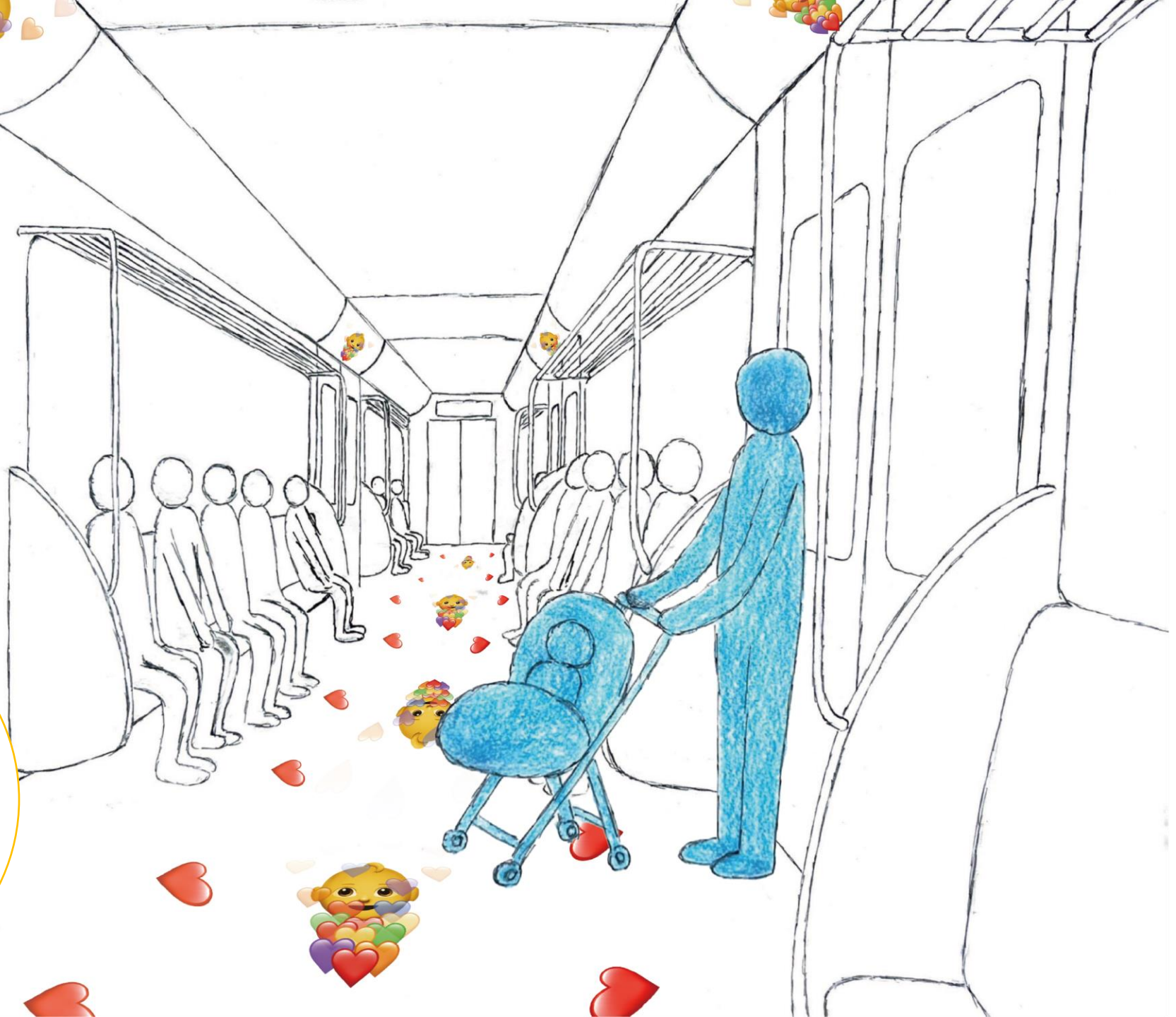
⇒ 小さい子どもを連れる親が安心できるような、公共交通機関の雰囲気づくり

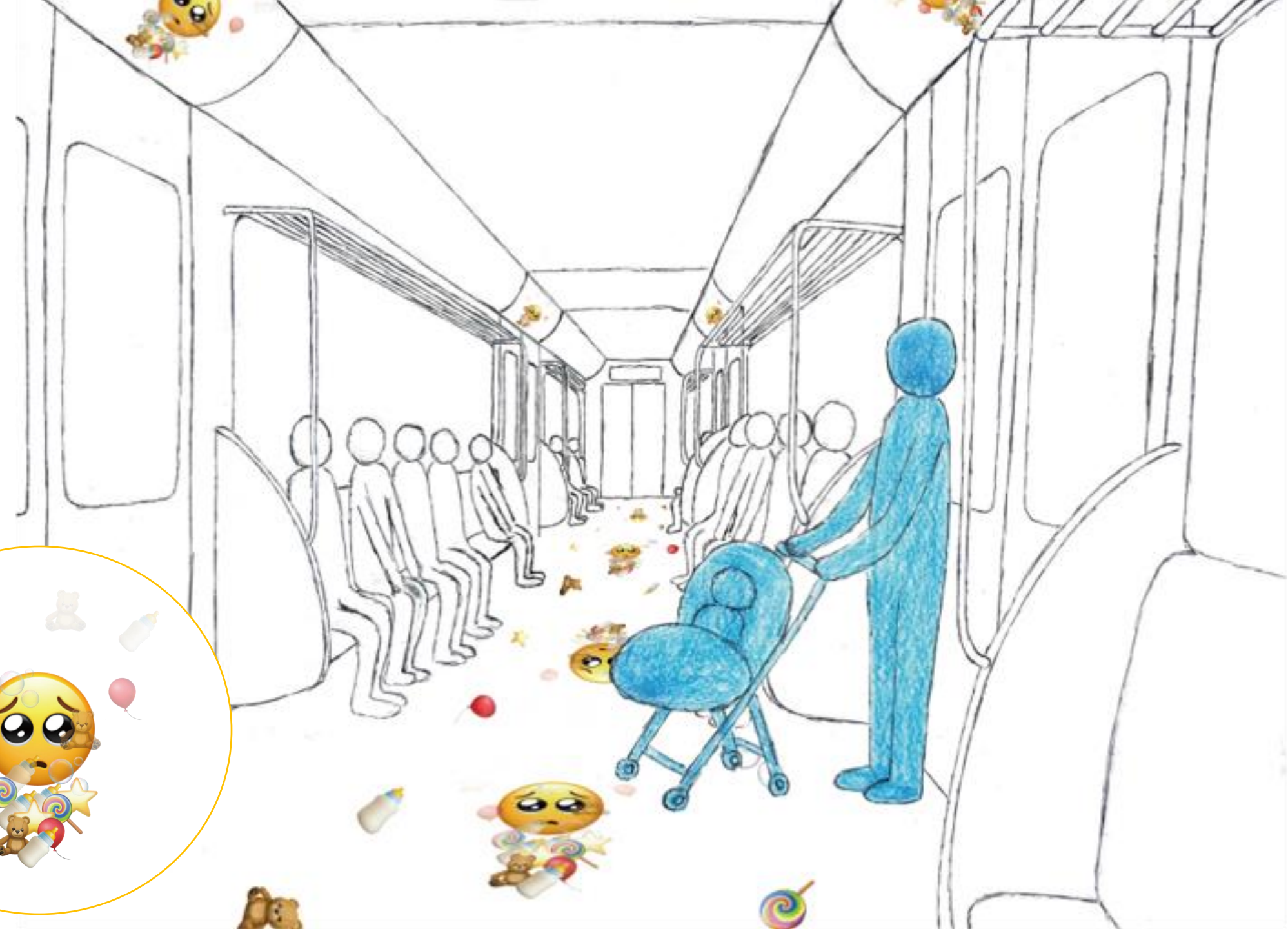
# ストーリー











# メリット①：承認の可視化



意思表示がエフェクトとして開示され、親への承認や歓迎の気持ちが可視化される



周囲へ目を向けるきっかけにもなるため、周りの変化に気づき席を譲るきっかけにも

# メリット②：交通機関内に一体感が生まれる



モニターに届く反応が一定数を超えると  
乗車・搭乗割引がプレゼントされるしくみ



# 電車

---

- 車内のディスプレイと床に赤ちゃんのアイコンが表示される。
- 歓迎のポイントを送る際には、床に表示されるQRコード付きのハートを読み込む
- ポイントが一定数貯まると、その時の運賃が割引に



# バス

- 車内のディスプレイに赤ちゃんのアイコンが表示される。
- 歓迎のポイントを送る際には、車内の押しボタンを押す。
- 押しボタンは通常の用途としても使うため、一定時間経過すると押しボタンとディスプレイはいつも通りに戻る。



# 飛行機

---

- 車内にあるモニターに赤ちゃんのアイコンが表示され、各座席にあるディスプレイから、歓迎の意思表示をする。
- 歓迎のポイントが一定数貯まると運賃の割引やポイント還元の特典を受けることができる。



# 新幹線

- 車内の前方のモニターに赤ちゃんのアイコンが表示され、各座席に設置されたディスプレイから反応を送る。
- 歓迎のポイントが一定数貯まると運賃の割引やポイント還元の特典を受けることができる。

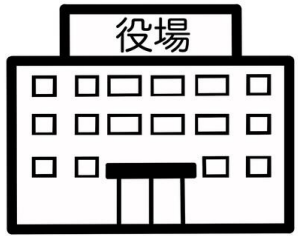




# インセンティブの役割

- 企画の本質は雰囲気づくり
- 親たちが一番求めているのは行動変容  
→より多くの人々の理解と参加のための拡散力が必要  
⇒割引などのインセンティブの必要性
- 親たちも同等に割引されるため、平等性は保てる
- 赤ちゃんがいるからこそ割引は生まれる  
→子ども連れの親への歓迎にもつながる

行政



産婦人科



赤ちゃん



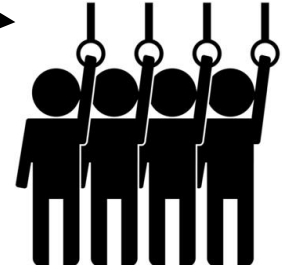
親



連携企業



乗客



交通機関

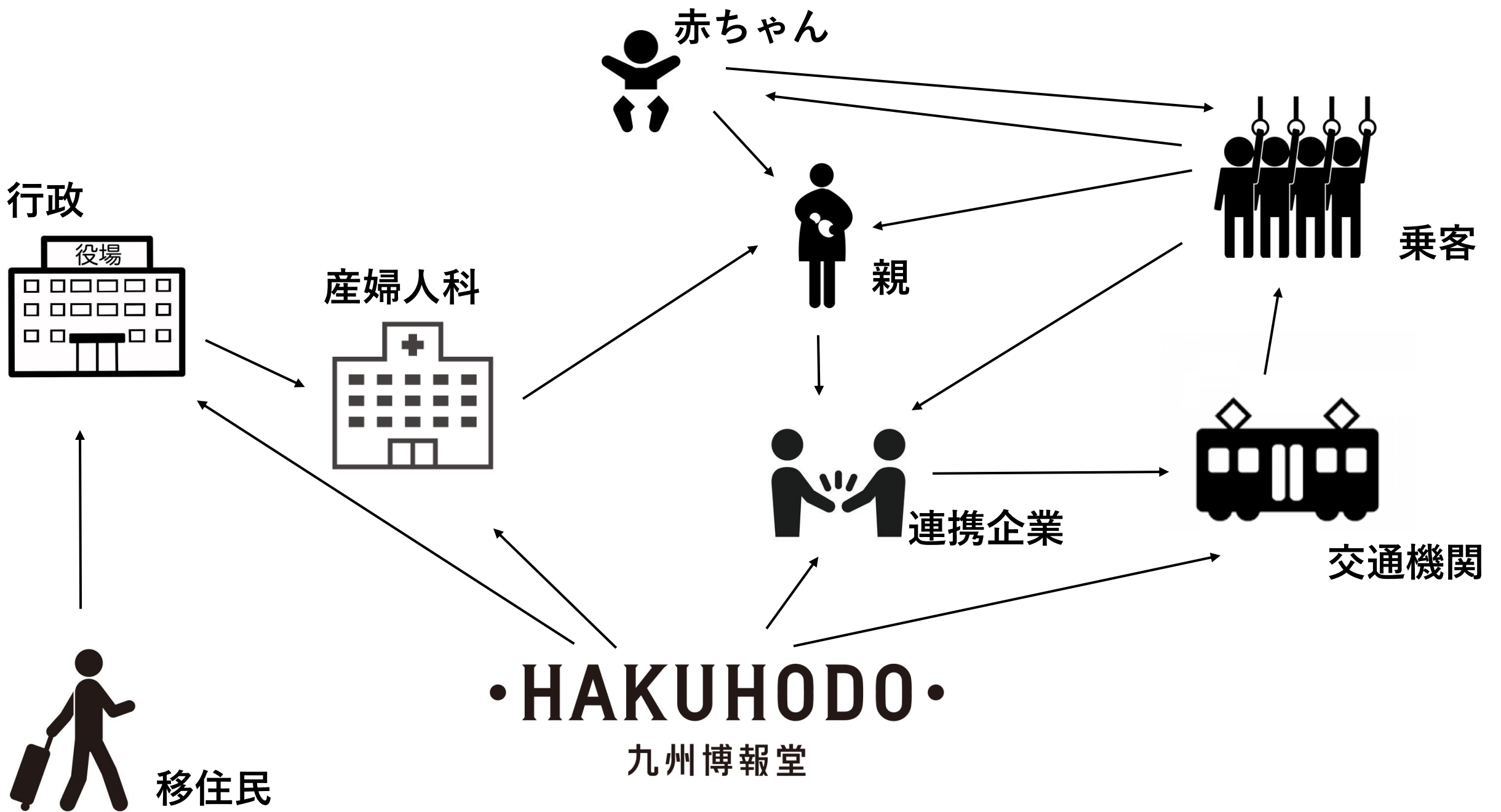


移住民



・HAKUHODO・

九州博報堂



## 各ステーク ホルダーのメリット

- **公共交通機関のメリット**

→子連れの親への貢献度がポイントとして可視化されるため、企業価値の向上により子連れの親を中心としたユーザーの増加が見込める

- **協賛企業**

→社会貢献による企業価値の向上や、広告によるプレゼンスの向上

- **地方自治体**

→子育て先進地域として自地域・九州のプレゼンスを向上、人口流入や地域活性化に繋がる。

# 将来的な いいこと

---

- 街の公共交通機関に子連れの姿が多く見かけるようになる。
- この施策により、熊本の地で子育てをしてくれる人が増える



ご清聴ありがとうございました